県中-16

こころやさしい「鬼」が生づく、早稲川の里づくり

田村市早稲川地区	田村市	県中建設事務所 計画期間：H23～H26

地域づくりの方針

地域住民の郷土意識も高く、花で彩る道づくりを実施しており、単に構造規格にあった道路整備を行うのではなく地域特性に応じた沿道環境に優れた道路整備を地域との連携協働により実施することにより、一層の地域魅力の向上させ魅力のある地域を後世に継承することとしている。

主な事業内容

幅員狭小箇所を解消し、

あわせて沿線を花で彩ることで

沿道環境を整え、地域魅力を向上させます。

事業概要図

位置図

地域の現状

田村市早稲川地区は田村市の「まちづくり基本計画」にある花回廊構想に基づき、地域住民が沿道に植栽を実施して、沿道美化に努めている。縄文時代の岡平遺跡や「鬼五郎幡五郎伝説」が残る太古からの伝統や優れた自然環境を有します。

田村市早稲川地区を通るあぶくま洞都路線は、田村市内の滝根町から都路町を通る約24ｋｍの道路であり、あぶくま洞をはじめとした自然を生かした様々な地域資源が点在し、年間数十万人が訪れます。本路線は、高地を通る道路であり、縦断の厳しいところは少ないが、車道幅員が3.0m～4.5mの場所がほとんどであり、1.5車線的整備を含め、交流道路としての機能を確保することが必要です。

地域づくりのあゆみ

平成22年	・H22地域づくり意見交換会で地域の特性を活かした、地域住民との協働による道路づくりを確認。

元気づくりの立役者たち

花で彩る道づくり

鬼五郎幡五郎伝説

縄文時代の岡平遺跡

あぶくま洞

地域の課題・今後の展望

・田村市早稲川地区を通るあぶくま洞都路線は田村市滝根町から都路町を通る唯一の道路で、車道幅員が3.0m～4.5mの場所がほとんどであり、交流道路としての機能を確保することが必要です。

事業の効果

■地域住民による道路美化活動

・既に1.5車線で整備済み箇所について、地域住民が植栽を実施して、沿道景観美化に努めています。
・「まちづくり基本計画」にある花回廊構想にもとづき、親水施設整備として石積水路工の設置及び空間利用としての植栽空間の確保を整備しています。

住民による沿道の植栽活動

植栽空間の確保された道路

地域づくり意見交換会

■期待される効果

・豊かな沿道景観が整備されます。
・広域交流道路として利活用できます。
・地域住民の郷土愛が一層向上するとともに地域活力も向上します。

整備内容及び利用状況

幅員狭小箇所解消

施工前

施工後

待避所

施工前

施工後

管理状況

■早稲川大字会、田村市及び福島県による「うつくしま・みちサポート制度」の締結を予定しています。

関係機関

- ■　福島県県中建設事務所企画調査課　　TEL ： 024-935-1341
- ■　早稲川大字会（地域住民の会）
- ■　清流の里100年プロジェクト委員会（沿道植栽計画）